

統合・合併に対応して補充

今回の日経平均株価の構成銘柄入れ替えは、企業再編の加速に対応したものだ。持ち株会社を毎年10月の定期見直しを待たずに上場後すぐに採用するほか、一時的に225未満の銘柄数で算出するという、構成銘柄の改定選定基準に沿って実施する。

持ち株会社による統合の場合、母体会社の上場廃止から持ち株会社が上場して構成銘柄に加わるまで1週間程度の空白期間が生じることがある。この期間はずなぎの銘柄補充をせず、225に満たない銘柄数で指数を算出する。

今回、225未満の銘柄で算出するのは5営業日。3月27日から29日までが222、30日と4月2日は223銘柄となる。銘柄数の変化に対してはその都度除数を修正して対応するため、日経平均の指数としての継続性は維持される。